

56歳でリストラ 無縁の音楽業界で  
日本レコード大賞 (企画賞) 受賞  
雇用流動化の今を生き抜く力とは？

『部外者の流儀

ある日、三木たかしの5000曲を託されたぼくは、  
いかにしてその価値を最大化したか』刊行

JTBグループで旅行・ライフスタイル情報を提供する株式会社JTBパブリッシング（東京都江東区、代表取締役 社長執行役員：盛崎宏行）は、2026年5月11日（月）に『部外者の流儀 ある日、三木たかしの5000曲を託されたぼくは、いかにしてその価値を最大化したか』（著：花畑秀人）を刊行します。

本書は56歳でリストラされた著者が、ひょんなことから「津軽海峡・冬景色」「時の流れに身をまかせ」「夜桜お七」「アンパンマンのマーチ」などで知られる作曲家・三木たかしの残した5000曲を託され、無縁の音楽業界で孤軍奮闘した経験から「部外者」の強みや意味を導き出すものです。リストラはもちろん転職や出向、起業、定年後のシニア採用など雇用が流動化し、誰もが「部外者」になりうる今「何も知らない」ことをチャンスととらえ、生き抜く術を伝えます。また幕間には三木たかしの名曲にまつわる知られざるエピソードを収録し、美しいメロディとともに人生の機微を描きます。

なお発売日の5月11日は、三木たかしが亡くなってちょうど17年となる日です（2009年5月11日没）。また5月は、数々の名曲を提供したテレサ・テンさんが旅立った月でもあります。

【目次】

◇プロローグ

◇1章 転機 ぼくは「沈みゆく船」を降りた \*部外者の流儀(1)

・名曲の面影 津軽海峡・冬景色

◇2章 慢心 丸裸の元会社員 \*部外者の流儀(2)

・名曲の面影 時の流れに身をまかせ

◇3章 混乱 5000曲との出会い \*部外者の流儀(3)

・名曲の面影 夜桜お七

◇4章 驚愕 音楽とお金のリアル \*部外者の流儀(4)

・名曲の面影 思秋期

◇5章 逆転 七転八倒の生誕 80年プロジェクト \*部外者の流儀(5)

・名曲の面影 天才の空白期間

◇6章 展望 挑み続けるために \*部外者の振る舞い

◇エピローグ

部外者の流儀

ある日、三木たかしの5000曲を託されたぼくは、  
いかにしてその価値を最大化したか

花畑秀人



56歳でリストラ  
無縁の音楽業界で  
ビジネスに挑戦し  
レコード大賞  
（三木たかしノンブックで2025年企画賞）

うつむくな ふりむくな チャンスはある  
異動、転勤、転職、再雇用、起業…  
雇用が流動化する今 部外者こそ輝ける

定価 1760円(10%税込)



三木たかし

作曲家。本名は渡辺匡（ただし）。1945年1月12日、東京都生まれ。10代から音楽の道を歩み始め、作曲家の船村徹やジャズベーシスト・作曲家の小野満に師事。1967年に「恋はハートで」で本格的に作曲家デビュー。23歳のとき、妹の黛ジュンに書いた「夕月」がヒット。以後、数多くのヒット曲を生み出す。特に「津軽海峡・冬景色」「時の流れに身をまかせ」「夜桜お七」などは今も愛され続けている。

また「アンパンマンのマーチ」や高校サッカーの大会歌「ふり向くな君は美しい」、劇団四季の「ミュージカル『夢から醒めた夢』」「ミュージカル李香蘭」「ミュージカル異国の丘」「ミュージカル南十字星」などの楽曲を手掛け、歌謡曲、演歌といった枠にとらわれない多彩な活躍を見せる。2005年、紫綬褒章を受章。2009年5月11日、64歳で没。

<書誌概要>

【書名】『部外者の流儀 ある日、三木たかしの5000曲を託されたぼくは、いかにしてその価値を最大化したか』

【著者】花畑秀人

【定価】1760円（10%税込）

【仕様】四六判並製（縦188×横128）、256ページ

【発売日】2026年5月11日（月）

【発行】JTBパブリッシング

【販売】全国の書店、ネット書店

Amazon⇒ <https://www.amazon.co.jp/dp/4533172857/>

<お問い合わせ先>

JTBパブリッシング ブランド・サステナビリティ戦略室 [pr-team@rurubu.ne.jp](mailto:pr-team@rurubu.ne.jp)